

第2回 妙高杉ノ原マウンテンリゾート開発計画連携地域活性化協議会

次 第

日時：令和8年6月15日（月）14:00～16:00

場所：高田城址公園オーレンプラザ ホール

I 開 会

- 1 議長挨拶
- 2 ペイシャンスキャピタルグループ ケン・チャン CEO 挨拶（オンライン）

II 議 題

- 1 開発の進捗状況等について【資料1】
- 2 各部会の検討状況報告
 - (1) 交通・観光部会
 - ・交通・観光部会における主な取組【資料2】
 - (2) 地域整備部会
 - ・杉野沢地区変形五差路改良について【資料3】
 - (3) 県産品等活用促進部会
 - ・県産品等活用促進に向けた取組【資料4】
- 3 県の組織改正について【資料5】

III 意見交換

- ・妙高市の取組【資料6】
- ・「Meet Japan in Joetsu」の概要【資料7】
- ・糸魚川市の取組【資料8】
- ・佐渡市観光振興の取組【資料9】
- ・地元交通事業者3社と観光3団体の連携協定等【資料10】

IV 閉 会

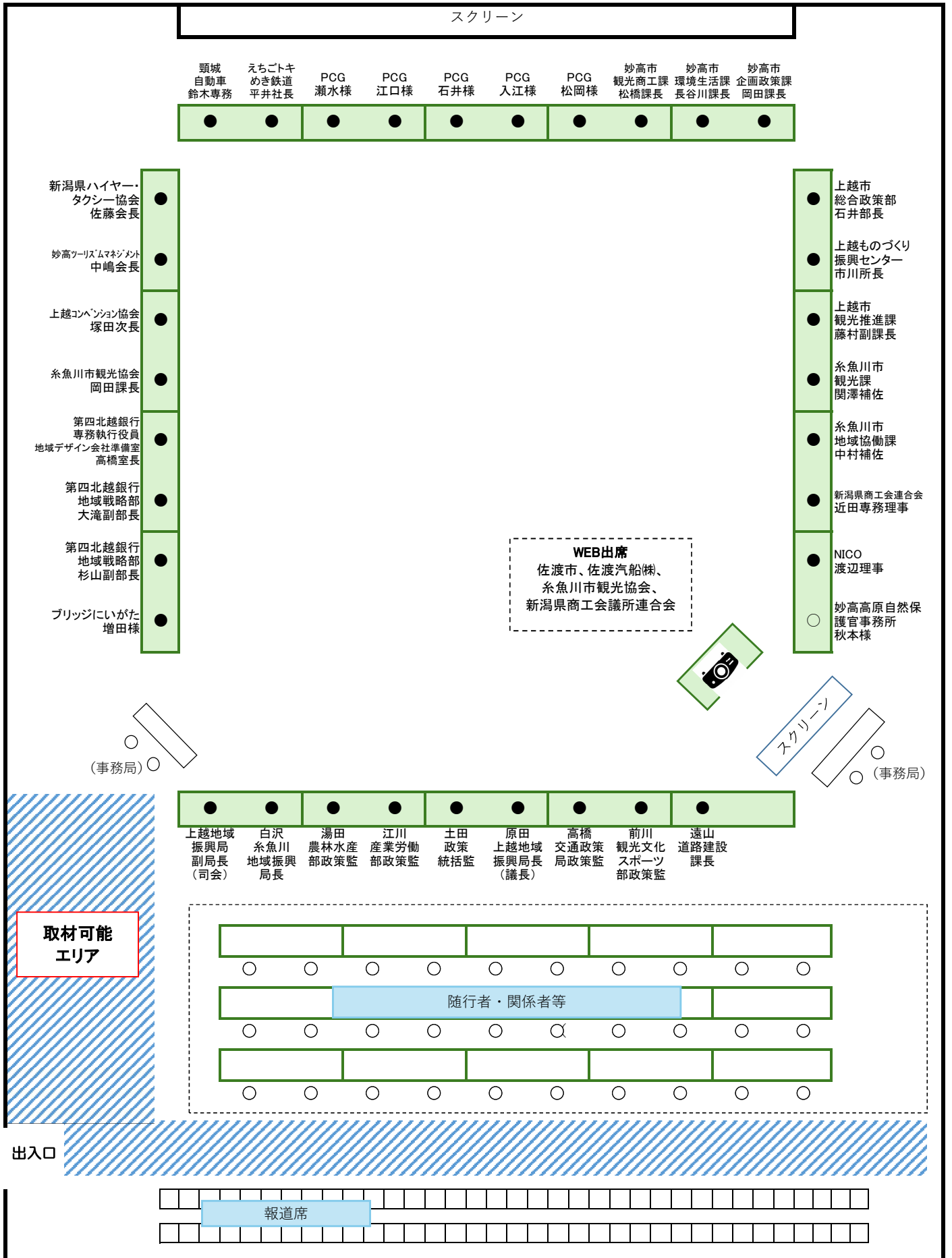
《配付資料》

- ・次第
- ・出席者名簿
- ・座席表
- ・資料一式（資料1～資料10）

第2回 妙高杉ノ原マウンテンリゾート開発計画連携地域活性化協議会

日時：令和8年6月15日（月）14:00～16:00

場所：高田城址公園オーレンプラザ ホール



妙高プロジェクト

シックスセンス 妙高

JUNE 2026

プロジェクト開発 位置図



注：2025年9月時点、変更可能性あり。B棟・C棟の開発は引続き検討中

COPYRIGHT © 2026 PATIENCE CAPITAL GROUP PTE LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

計画概要

建築物名称：A棟

地名地番：新潟県妙高市杉野沢267-2他

敷地面積：18,204.68㎡

建築面積：7,163.58㎡

延床面積：28,285.28㎡

階数：地上7階、地下1階、塔屋1階

最高高さ：軒高34.04m

基礎工法：直接基礎

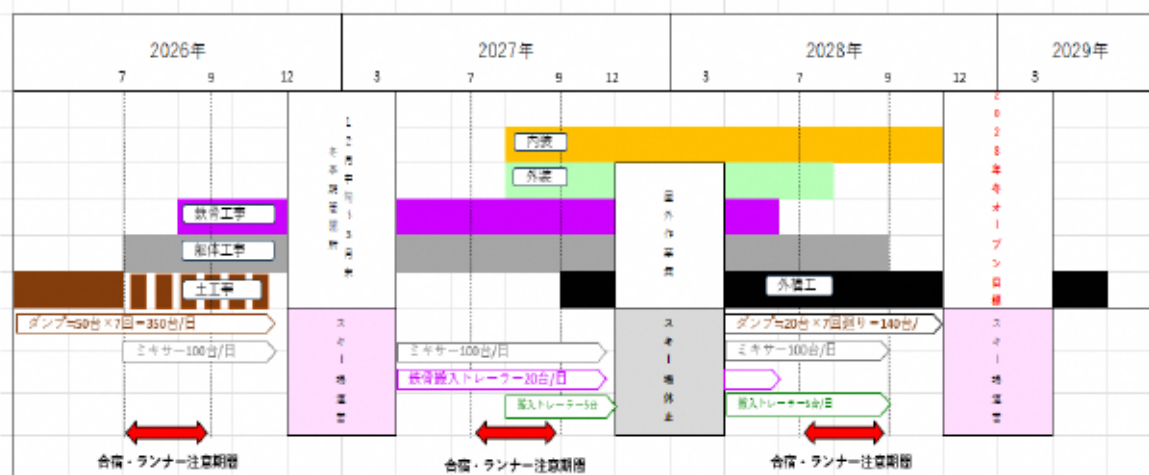
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造

工事種別：新築

主要用途：ホテル、ブランドレジデンス



■工程簡易版



寄宿舎・サテライト事務所



建設予定地

【寄宿舎概要】
 建物： 事務所棟1棟、宿舎棟2棟、厚生棟1棟 各2階建て
 住所： 妙高市田口1188-1他
 設置期間： 2026年4月15日～工事終了まで（※建設期間を含む）
 収容予定人数： 最大100名程度

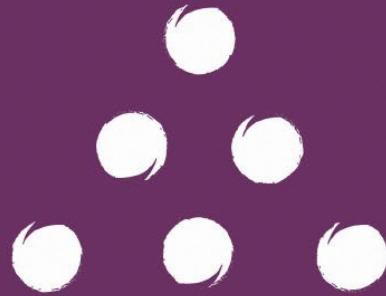


写真①

写真②

写真③

2階平面図



SIX SENSES

APPENDIX – シックスセンスとは

ホテルブランド – 世界の旅行者を魅了するシックスセンスの特徴と魅力

ラグジュアリー&ウェルネスの旗艦ブランド

- シックスセンスは、「ウェルネス、サステナビリティおよび地域文化との調和」という世界トップクラスの理念を体現するラグジュアリーブランド
- 本プロジェクトにおいては、シックスセンスが高付加価値の海外ゲストの誘致に繋がる旗艦的存在（フラッグシップアンカー）となり、地域の国際的な認知度および来訪者数向上を通じて、妙高エリアの資産価値の向上を期待
- シックスセンスは世界22か国において27軒のホテルを展開。日本では京都に次ぐ2か所目の開業を目指す。シックスセンスのマウンテンリゾートとしては、フランスのクールシュヴェル、スイスのモンタナなどのホテルに限られ、シックスセンス妙高はグローバルでも希少性の高いプロジェクト



SIX SENSES

グローバルでの認知度

- シックスセンスのブランド導入により、妙高はニセコや白馬を凌ぐ、日本における次世代ラグジュアリー・マウンテンリゾートとして、世界のリゾートマーケット上で確固たる地位を築く
- シックスセンスは2019年にIHGに参画。IHG One Rewardが有するグローバルでの約1億人のネットワークを通じ、多くの来訪者が期待される

What sets Six Senses apart

OUR VALUES



Local sensitivity, global sensibility

Part of the local fabric and culture, yet in tune with the wider world.



Responsible & caring

Caring for hosts and local communities. Committed to preserving the environment and sustainable operations.



Crafted experiences

An all-encompassing and unique range of experiences to stimulate, energize and restore.



Pioneering wellness

Delivering the latest and most effective wellness programs and experiences in partnership with leading experts.



Emotional Hospitality

An emotionally intelligent approach to service that begins with empathy.



Fun & quirky

Aesthetics and experiences which are always unique, often unexpected and sometimes unusual. Delivered out of our constant curiosity and willingness to experiment.



シックスセンス・レジデンス クールシュヴェル(フランス)

世界屈指の人気を誇るウィンターデスティネーションの中心に位置し、比類なきアメニティを提供

1ベッドルームから5ベッドルームまでの全57戸のペントハウスおよびアパートメント

建築家アラン・フォイエによる設計で、現代的デザインと伝統的な山岳様式を融合し、アルプスの美意識を表現

シグネチャーマッサージ、回復療法、フェイシャルおよびボディトリートメントを提供する5室のトリートメントルームを備えたシックスセンス・スパ

専属スキー・コンシェルジュサービス





シックスセンス・クラン＝モンタナ(スイス)

ヴァレー州に位置し、ジュネーブから車または鉄道で約2時間

47室の客室およびスイートに加え、すでに購入可能な17戸のレジデンスを備える

レストラン2店舗、サンテラス、バーを完備

約22,000平方フィート(約2,000㎡)のスパでは、アルプスに着想を得たトリートメントを提供し、フィットネスセンター、プール、空中型リラクゼーションエリアを併設

リゾート全体でリサイクル材、地元資材、再利用素材を活用しており、エネルギーおよび水資源の保全も設計上の重要な要素となっている





Patience Capital Group Pte. Ltd.
51 Cuppage Road #10-01
Singapore 229469

Tel +65 6263 7730

ペイシャンスキャピタルグループ株式会社
100-0005
東京都千代田区丸の内2-1-1
明治安田生命ビル5階

Tel +81 3 6268 0850

代表取締役: ケン・チャン・チェン・ウェイ
設立: 2019年9月10日
資本金: 1千万円
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3278号
第二種金融商品取引業 投資助言・代理業
加入協会 日本投資顧問業協会 第二種金融商品取引業協会

1 目指す将来像 妙高杉ノ原・杉野沢を中心としたリゾート開発を契機に、来訪者へのサービスの提供を通じて広くエリアに効果を波及させ、来訪者・地域住民双方の満足度を高められる持続可能な観光地域づくり

2 現状・課題

○妙高エリアは、SIT(スキー・ゴルフ等)や人気宿泊施設を目的に訪れる傾向が強く、オールシーズンリゾート化には、これらニーズを維持しながら新たな訴求力の高いコンテンツやサービスの創出・充実が必要。

○現状、外国人観光客は、冬季の妙高赤倉エリアに集中しており、効果を上越エリア全体に波及させる取組が必要。

○来訪者の満足度を高め、再来訪につなげるには、多様な楽しみ方やシームレスな移動の実現に向けたキャッシュレス化等の受入環境の充実、WEB媒体を活用した旅マエ・旅ナカの情報の充実が必要。

○主な来訪者が冬季(外国人)と夏季(日本人)で異なる中、交通事業者を含む観光関係者が、安定した経営が行える仕組みづくりが必要。

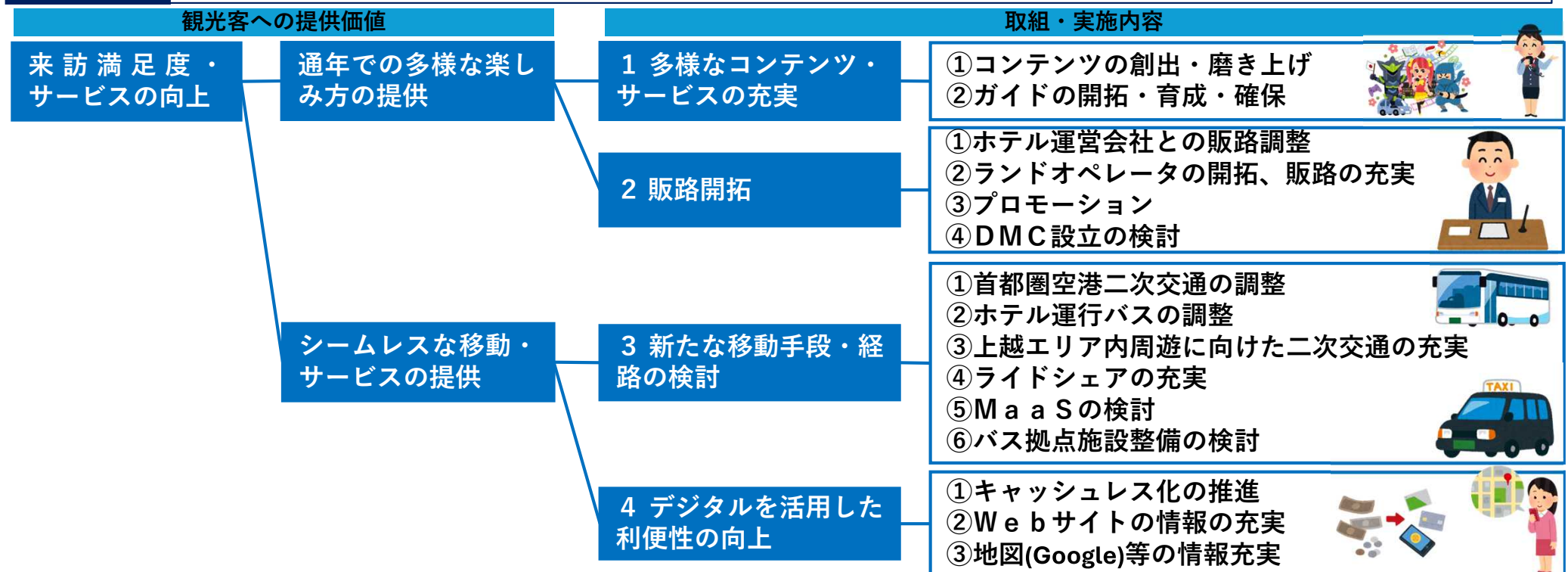
PCG要望等

- コンテンツ造成・広域周遊促進
- 自然立地型リゾートMICE推進
- MaaS導入
- 二次交通充実

3 取組の方向性

○オールシーズンリゾートに向け、訴求力のあるコンテンツやサービスの創出・充実に取り組み、インバウンドは、高付加価値旅行者の誘致を推進。

○シームレスな移動の素地となるキャッシュレス化や多様な情報の充実に努め、環境が整い次第MaaS導入に着手。



1 交通・観光部会の各団体の主な役割

団体	主な役割
観光事業者・交通事業者	受入環境整備・充実
金融機関	地域のプレイヤー掘り起こし
市町村・観光協会	地域のとりまとめ
県	全体コーディネート・支援

2 これまでの取組経過

回	時期	主な検討事項
第1回	令和7年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・上越エリアの交通・観光に関する現状、課題、取組の方向性 ・妙高市内の宿泊状況、スキー場へのバス（二次交通）運行状況
第2回	令和7年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツの充実、ガイドの開拓等 ・エリア内の二次交通の充実、MaaSの検討 ・デジタルを活用した利便性の向上
第3回	令和8年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツの充実、ガイドの開拓等 ・エリア内の二次交通の充実、MaaSの検討 ・デジタルを活用した利便性の向上
第4回	令和8年6月 (本日AM開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツの充実（造成・磨き上げ）、ガイドの開拓等 ・タクシー営業区域の統合などのタクシー増に向けた検討 ・人流データ・観光コンテンツに合わせた二次交通整備や、MaaSの具体的機能等の検討 ・デジタルを活用した利便性の向上（地図情報等の充実）

3 取組・実施内容

項目		これまでの取組	今後の取組予定
多様なコンテンツ・サービスの充実	コンテンツの創出・磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ○妙高・上越・糸魚川・佐渡エリアにおける主要コンテンツのリストアップ ○テストマーケティングの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○主要コンテンツの磨き上げ（R8上期～） ○高付加価値旅行者向け周遊型コンテンツの造成（7月～）
	ガイドの開拓・育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ○各市のコンテンツガイド、スポットガイドの現状を整理 ○高付加価値ガイド研修等の開催 ○F A M等を活用したガイドスキルの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○高付加価値ガイド研修の開催（6月～） ○コンテンツガイド研修の開催（8月～） ○F A M等を活用したガイドスキルの向上（R8下期～）
販路開拓	販路調整、プロモーション等	<ul style="list-style-type: none"> ○コンテンツと連動したモデルコースの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンテンツ造成・磨き上げ後、流通経路への登録促進（コンテンツ造成後）
新たな移動手段・経路の検討	エリア内周遊の二次交通・ライドシェアの充実 MaaS等の検討 首都圏空港等との二次交通	<ul style="list-style-type: none"> ○妙高市内での配車アプリ（Uber）の導入 ○日本版ライドシェアの活用 ○タクシー営業区域の臨時的対応（北陸信越運輸局） ○交通事業者（頸城自動車、妙高市営バス）へのキャッシュレス決済導入支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○上越市内等への配車アプリの導入検討（R8.上期～） ○ライドシェアの更なる活用や区域外旅客運送によるタクシー増に向けた検討（R8.上期～） ○MaaS導入に向けた具体的機能等の検討（R8.上期～） ○首都圏空港等との二次交通需要動向を見据え、運行課題等を確認（R8.上期～）
デジタルを活用した利便性の向上	キャッシュレス化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○現状把握、登録状況の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ○商工団体等と連携した個別事業者のキャッシュレスの導入促進（6月～）
	Webサイトの情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○妙高・上越・糸魚川エリアの観光情報の発信方法について検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○MaaS導入との連動も含め今後検討（R8.下期）
	地図（google）等の情報充実	<ul style="list-style-type: none"> ○民間事業者の取組促進に向けた普及啓発（セミナー・個別相談等）を各地域で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間事業者のGoogle ビジネスプロフィール多言語化登録・運用支援を実施予定（7月～）

4-1 観光分野に関する取組

コンテンツの創出・磨き上げ、販路開拓

これまでの取組

○概要：上越・妙高・糸魚川エリアを周遊するモデルコースについて、インバウンドに精通する国内旅行社による現地視察の実施により、コンテンツを評価・検証

○時期：令和8年2月

地域	主な視察先
妙高	かんずり、スキー場
上越	城下町のまち歩き（雪国の暮らし体験）、料亭 えちごトキめきリゾート雪月花
糸魚川	フォッサマグナミュージアム、酒蔵



今後の取組

- マーケットインの視点の下、PCG関係者も含めたインバウンドに精通する有識者等の招へいを繰り返すことで、コンテンツの造成、磨き上げの充実に取り組む
- 造成・磨き上げたコンテンツに関して、流通経路への登録促進を図る

4-2 観光分野に関する取組

ガイドの開拓・育成・確保

これまでの取組

- 高付加価値ガイド研修を県内2カ所で開催（合計24名参加）

<研修内容>

- 対象：全国通訳案内士資格保持者、インバウンドガイド業に携わっている方、ガイド業に関心のある方
- 内容：ガイドの心構え、高付加価値ガイドに求められること

今後の取組

- ガイディング力の一層の向上と高付加価値旅行者に対応できるガイドの確保のため、ガイド研修を継続
- 質の高いサービスを提供できる人材を育成するため、コンテンツガイド研修を実施する



※観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」（モデル観光地）と連携

4-3 観光分野に関する取組

デジタルを活用した利便性の向上

これまでの取組

- 観光関連事業者等におけるGoogleビジネスプロフィール（以下、「GBP」という）の登録と活用を促進するため、Googleビジネスプロフィールの整備の重要性、登録方法等に係るセミナーを開催

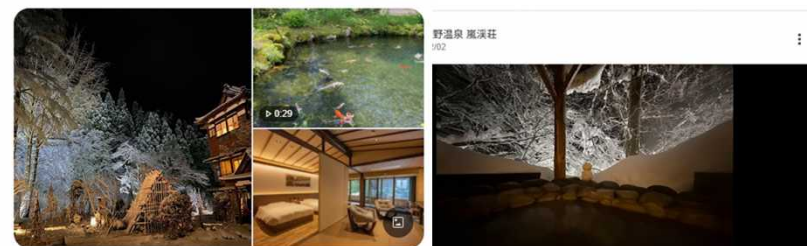
事業主体	取組内容
県	新潟インバウンド推進協議会会員等を対象としたセミナーを開催
上越	個別店舗向けのセミナーを開催
妙高	初級者向けのセミナーを開催
糸魚川	GBPの重要性の周知及びGBP登録支援を実施



今後の取組

- 引き続き、旅行者の利便性向上や広域周遊の促進に向け、セミナーや登録・運用支援を実施しGoogleマップ掲載情報の充実を図る。
- 商工団体等と連携した調査の実施などを通じて、個別事業者のキャッシュレスの導入促進を図る。

越後長野温泉 嵐渓荘
4.4 ★★★★★ Google のクチコミ (601) ・ 旅館 ・ www.rankel.com ・ 0256-47-2211



5-1 妙高市におけるタクシー不足対策

妙高市内での配車アプリ（Uber）の導入

- タクシー配車アプリ「Uber」の導入による配車効率の向上、業務効率化（妙高市が支援し3社15台が参画）

日本版ライドシェアの活用

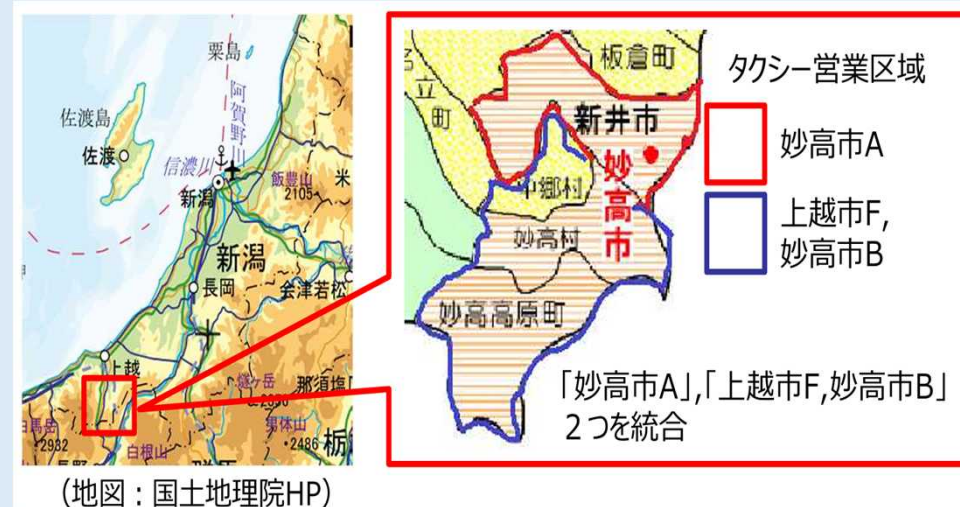
- 運行期間：2025/12/23～2026/3/31
- 運行エリア：妙高高原エリア
- 時間帯：毎日8:00～13:00, 15:00～23:00
- 事業者数：1社
- 車両数：2台

タクシー営業区域の臨時的対応 （北陸信越運輸局）

- 妙高市内の2つの営業区域を期間限定で統合、乗務員・車両を市内全域からの応援態勢を確保
- 対応期間：2026/1/1～2026/3/5
- 事業者数・車両数

2024-25シーズン 1社6台	➡	2025-26シーズン <u>3社21台</u>
---------------------	---	-----------------------------

出典：北陸信越運輸局



5-2 デジタルを活用した利便性の向上

交通事業者へのキャッシュレス決済導入支援

- インバウンド需要増加を見込み、令和7年度県の新規事業として県内公共交通機関のキャッシュレス決済の導入を支援

- 事業概要

補助対象：バス、鉄道

補助率：1/3 ※国支援制度との併用可



クレジットカード等による
キャッシュレス決済のイメージ

<令和7年度導入実績>

事業者等	導入内容	サービスイン	導入車両台数
南越後交通バス(株)	越後湯沢駅を中心とした路線バスでVisaタッチを導入	R8.1.7	24
新潟交通佐渡(株)	路線バス「本線」でVisaタッチを導入	R8.1.22	13
越後交通(株)	越後交通定期バス全線でVisaタッチを導入	R8.3.14	163
頸城自動車(株)	同社が運行する一般路線バス全線でVisaタッチを導入	R8.3.30	46
妙高市	妙高高原地域で運行する市営バス3路線（赤倉線、杉野沢線、妙高山麓線）でVisaタッチを導入	R8.4.1	3
計			249

6 観光庁 オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の面的受入環境整備促進事業（申請中）

オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の受入環境整備の促進

令和8年度予算額 10,000百万円 

事業目的・背景・課題

- 一部の地域・時間帯における観光客の過度な集中やマナー違反問題など、我が国における観光課題が顕在化している状況。
- インバウンドの更なる受入れに対する国民の不安を払拭し、観光を我が国における「戦略産業」として持続的に発展させていくためには、局所的・短期的な対応が中心となっていたこれまでの対策に加えて、地域の方々の理解の下、中長期的な視点からより実効性のある面的な対策を一層促進していく必要がある。

事業内容

①補助事業

- 地域における観光施策のとりまとめ・旗振り役である地方公共団体、観光地域づくり法人（DMO）が中心となり、各地域が現在直面している課題／今後抱える課題に地域一体で行う様々な取組※₁を面的・総合的に支援する。また、民間事業者をはじめ、個別の受入環境整備に係る取組についても、きめ細やかな支援を行う。
※1 ハード整備の他、調査・実証に係る取組を含む
- 特に、ソフト的・対症療法的な対策のみならず、中長期的な視点から安定的・持続的に支援できるよう、複数年にわたる取組についても支援することとする。また、検討段階から観光庁・地方運輸局が伴走支援を行い、地域の方々の理解の下、より実効性のある対策の加速化を図っていく。

②調査事業

- 我が国における観光課題の情報を収集し、生じている地域・エリアに提供することで、スピード感をもった対策の造成を支援するほか、多様な媒体を通じたマナー啓発、手ぶら観光サービスの普及・浸透に向けた調査等を実施する。

事業イメージ



事業スキーム

- ・事業形態：①間接補助事業（補助率 2/3（補助上限額：2億円）、1/2（補助上限額：0.5億円）、②調査事業等
- ・補助対象：①国→民間事業者→地方公共団体、登録DMO、民間事業者等 ②民間事業者等 ・事業期間：令和8年度～

担当課室：観光庁 参事官（外客受入）

6 観光庁 オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の面的受入環境整備促進事業（申請中）

令和8年度_オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の面的受入環境整備促進事業

対策計画名：妙高リゾート開発を契機とした面的受入環境整備

申請主体：新潟県 対象地域：新潟県妙高市を中心とした上越地方

類型
(地域一体型)

補助対象経費 総額：38,663,886円
申請補助金額 総額：25,775,921円

事業実施地域・エリア

取組内容（R8年度）

① 妙高高原地域におけるオーバーツーリズム未然防止・抑制のための未来デザイン策定事業
外国人旅行者等の増加に伴う、騒音、駐車違反、ゴミ出し等のマナー問題

② リフト券（ICカード）引換え混雑解消事業
早朝に集中するスキー場ICカード引換え混雑への対応(特定スポットにおける過度な混雑)

③ 妙高エリア飲食店受入強化に向けたWeb情報支援事業
妙高市赤倉地区に集中する飲食店混雑を同市他エリアに分散させる対応(需要の分散・平準化)

④ スノーリゾートアクセス改善事業
妙高市内におけるタクシー不足、急坂道路対応可能な4輪駆動車不足、キャッシュレス未対応(観光動線における受入環境の不足)

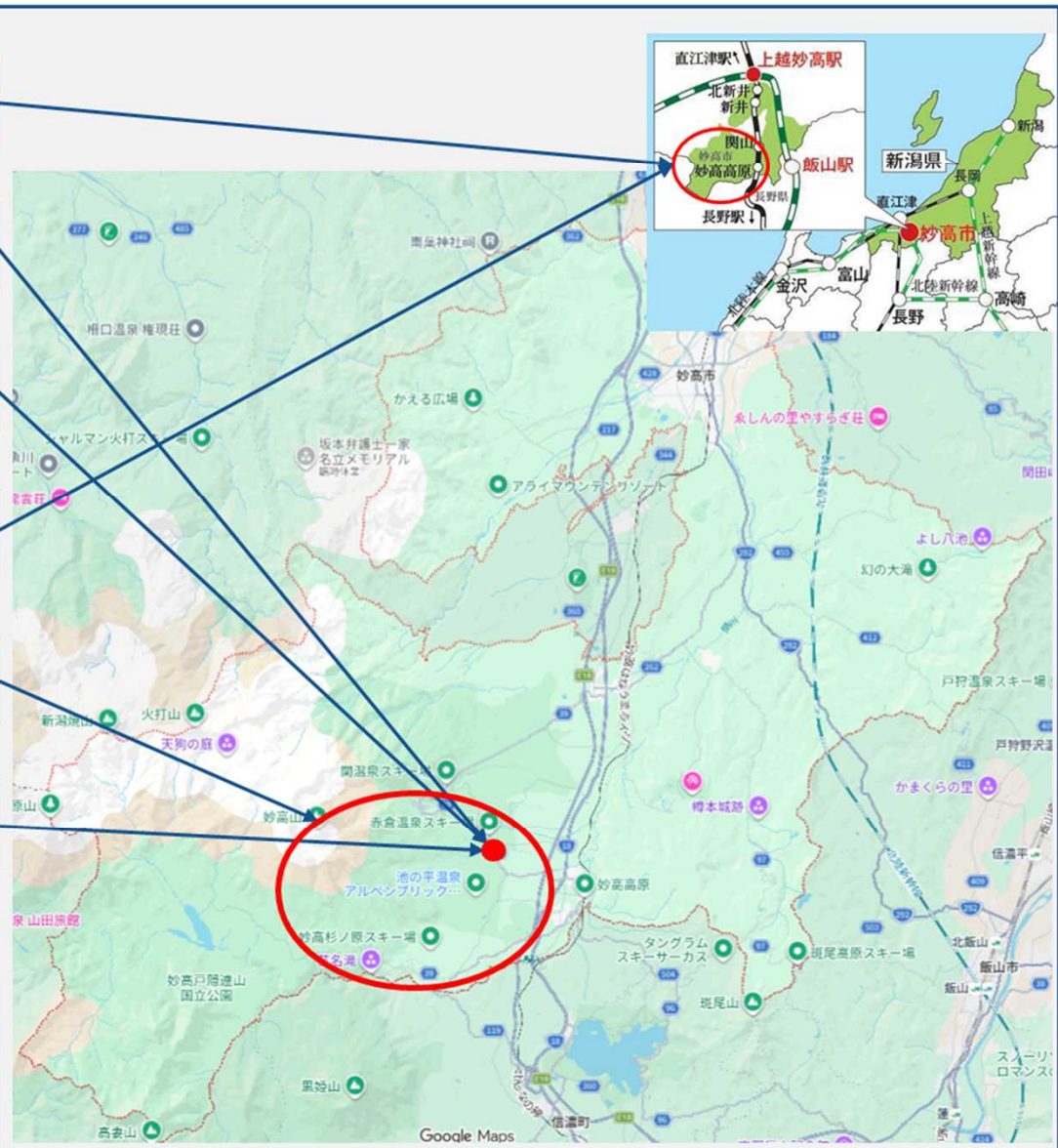
⑤ スノーリゾートシャトルバス利便性向上事業
外国人旅行者のシームレスな移動に向けたキャッシュレス・多言語対応が未整備(観光動線における受入環境の不足)

⑥ スノーリゾート宿泊・飲食分散促進事業
妙高高原地域の宿泊施設不足、夕食時の飲食店混雑(特定スポットにおける過度な混雑)

参考：R9年度以降新規想定事業

① スノーリゾートパーク&ライド実証事業(仮)
妙高杉ノ原スキー場の駐車場不足(特定スポットにおける過度な混雑)

② 妙高高原ゲートウェイ整備事業(仮)
外国人観光客で混雑する妙高高原駅等の改修



杉野沢地区変形五差路改良について

至 いもり池・赤倉温泉等



至 国道18号・妙高高原IC



至 妙高杉ノ原スキー場・ホテル建設予定地

至 杉野沢集落



S=1:2,000 (A3サイズ)

長野県

出典: 妙高市地図情報サービス「e-みょうこう」 地形図1/1000(道路周辺)、地形図1/2500(道路周辺以外)

1 現在の検討状況(令和8年5月末現在)

- ・ 令和7年3月から測量業務実施中
- ・ 令和7年5月から交差点概略設計実施中
- ・ 令和7年10月から地元集落及び地権者へ個別説明を実施中
- ・ 令和8年3月に知事による現地視察

2 今後の予定

- ・ 令和8年度内に交差点詳細設計を完了予定
- ・ 令和9年度以降、用地測量、用地買収・物件補償を実施し、早期の工事着手を目指す

3 課題

- (1) 交差点改良計画については、市及び地元との合意形成が必要
- (2) 用地については、県が定める単価により買収することとなるため、地権者からの協力が必要
- (3) ホテル建設車両と交差点工事が錯綜することが想定されるため、工事実施に際しては、工程調整が必要

1 目的

妙高エリアにおける大規模な国際リゾート開発を契機に、開発に伴う経済効果を県内へ波及させるため、ホテル等における県産品の導入を促進することで、県内経済の活性化を図る。

2 実施方針

関係自治体や県内事業者等と連携し、ホテル側とのハブ機能としての役割を担い、県産品等の活用に向けた県内事業者とのマッチングを推進するとともに、受注機会の拡大につなげる取組を推進する。

3 県産品等活用促進部会等の取組

3-1.これまでの取組

- 部会において、県産品に関するリストを作成
- 県内事業者への訪問を通じて、商品のストーリー性等を確認
- 県において、部会市町村以外の県産品に関するリストを作成

3-2.当面の活動

- ① ホテル側のニーズを踏まえた県産品提案リストの作成
- ② 県主催展示商談会の実施
 - 令和8年度中に業務用備品・消耗品等、食材・飲料を対象とした展示商談会を実施予定

		2025(R7)年				2026(R8)年				2027(R9)年				2028(R10)年			
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
開発計画	建築設計・申請	■															
	インフラ・造成工事	■				■											
	建築工事									■				■			
FF&E・OS&E										リストアップ、企業訪問等				※その後のスケジュールは未定			
F&B										リサーチ、リストアップ、生産者訪問				※その後のスケジュールは未定			

ホテル
オープン

(参考)

FF&E：家具・什器・備品等

OS&E：業務用備品・消耗品等

F&B：食材・飲料

1 目指す将来像

◆ ホテル等の飲食施設においてさまざまな県産農林水産物が利用され、喫食機会が増えることにより、

- ① 宿泊者・施設利用者の満足度向上
- ② 県産農林水産物の販路拡大および生産拡大
- ③ 宿泊者・施設利用者の口コミ・SNS発信やメディア掲載等を通じた県産農林水産物の魅力の訴求

2 対応方針

- ◆ 県産農林水産物および加工食品など、本県の強みである「食」の活用促進について主体的に取り組む。
- ◆ 特に、競合が見込まれる近隣県に先駆けて県産品の提案を行い、採用および継続的な取引につなげる。

3 これまでの取組と当面の活動

- ① 県・市町村において取引に関心があると想定される生産者を抽出し、意向を確認
- ② 取引候補となる生産物および生産者のリストを作成
- ③ 生産者訪問を通じて、食材に対する想いやこだわりをヒアリングし、ストーリー性を有する食材の選定・絞り込みを実施

4 今後想定される課題と取組の方向性

- ホテル側の食材ニーズへの対応（品質・規格・価格帯・ロット等）
- 環境配慮への対応（プラスチック使用削減等）

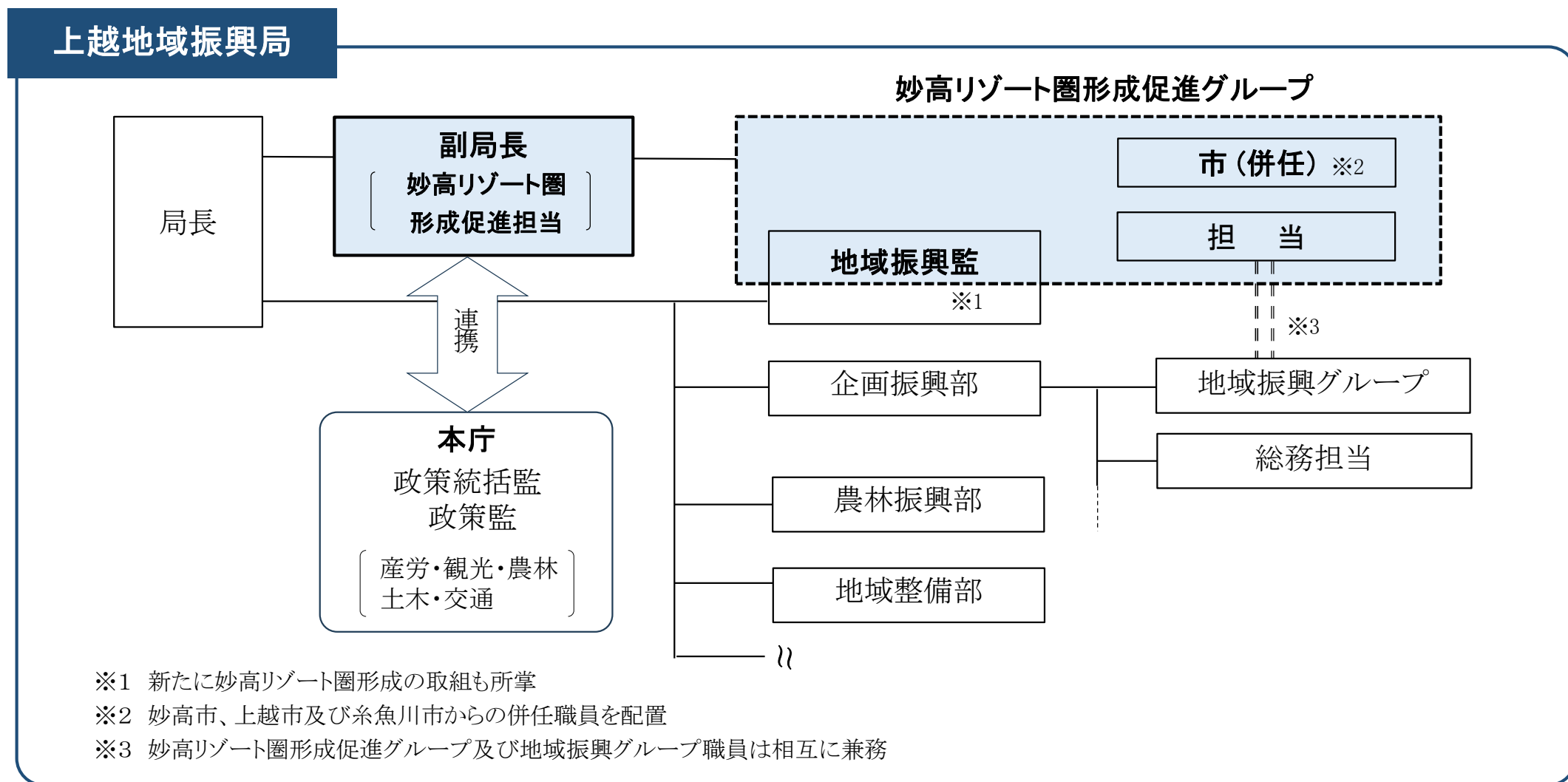
→ 今後示されるホテル側の具体的なニーズや意向を確認しながら、多くの県産農林水産物が活用され、新潟の食の魅力が広く国内外へ発信されることを目指し、生産者の支援や環境に配慮した配送・納品手法の検討に取り組む。



県産農林水産物イメージ（県推進ブランド品目）

妙高リゾート圏形成促進に向けた体制の強化について

世界最高水準のブランドホテル等の開業を見据え、官民連携のもと進めているリゾート圏形成について、今後、地元市との連携や事業者等との調整が本格化・具体化してくることから、現地で即応できる体制を構築し、一体的かつ機動的に取組を推進することで地域全体の活性化につなげるため、令和8年6月1日付けで上越地域振興局に「**副局長(妙高リゾート圏形成促進担当)**」及び「**妙高リゾート圏形成促進グループ**」を設置しました。



プロジェクトチームによる検討

【プロジェクト名称】

“誰もが住み続けられ、活気ある地域づくり” プロジェクト

※総合計画・SDGs推進本部のもと令和6年度からの継続

【目的】

- ①地域と開発事業者が共存共栄できるリゾート開発の推進
- ②日本人と外国人が共に安全・安心・快適に暮らせる環境づくり

【体制】

全課・支所の課長補佐・室長・次長 計24名

テーマ① 多文化共生と市民相談体制の構築

テーマ概要	<ul style="list-style-type: none">・ リゾート開発に伴い、ホテルの従業員等の外国人労働者が地域に居住することが見込まれることから、外国人居住者や観光客と地域コミュニティが調和するための制度設計を行う。・ 外国人向けの相談窓口の設置、コミュニティに溶け込めるような体制づくりのほか、保育や教育の受入体制の拡充など、外国人居住者も安心して暮らせる環境を整備する。
検討項目	<ul style="list-style-type: none">・ 外国人相談窓口体制の拡充・ 多言語対応の充実・ コミュニティ参加の推進・受入体制の拡充・ 保育、教育の受入体制の充実

テーマ② 市民生活の静穏維持とマナー対策・環境保全

テーマ概要	<ul style="list-style-type: none">・ リゾート開発に伴う定住人口や観光客の増加による、市民生活や自然環境への影響が懸念されることから、地域住民が安心して暮らせる環境を維持するため、静穏保持条例の制定やガイドブックの配布などによるマナー啓発、取締りの強化に努める。・ また、大型リゾート開発に便乗した乱開発の防止など、自然環境の保全に努める。。
検討項目	<ul style="list-style-type: none">・ 静穏保持条例の制定・ マナー啓発と取締り強化・ 乱開発防止と自然環境の保全

テーマ③ 経済循環と地元雇用の創出・市民優先枠の導入

テーマ概要	<ul style="list-style-type: none">・ 観光収益を地元産業に還元し、持続可能な地域内循環を目指すため、観光コンテンツの発掘・造成・磨き上げのほか、ガイド人材の育成や確保体制を構築するとともに、地産地消の推進や通年雇用の創出により、地域全体が潤う仕組みを構築する。・ また、観光客の増加に伴う市民の不満解消に向けた市民優先の施策を総合的に導入するほか、医療体制の確保に努める。
検討項目	<ul style="list-style-type: none">・ 観光コンテンツの発掘・造成・磨き上げ・ ガイド人材の育成・確保・ 地産地消の推進・ 通年雇用の創出（季節雇用から正規雇用へ）・ 市民優先枠の導入

テーマ④ 交通インフラのD X・M a a Sの推進

テーマ概要	<ul style="list-style-type: none">・ 持続可能な観光地を実現するため、デジタル技術を活用したM a a Sにより、公共交通の利便性と効率性を高めるとともに、観光客の周遊を促進し、観光客の満足度向上と環境負荷の低減を両立させる。
検討項目	<ul style="list-style-type: none">・ 持続可能な二次交通の構築・ M a a Sの推進・ キャッシュレス決済の推進・ 広域連携による交通網の統合

妙高高原地域の未来デザイン策定

令和8年度 オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の面的受入環境整備促進事業 地域一体型・一般型共通(様式4-A)

補助事業名: 妙高高原地域におけるオーバーツーリズム未然防止・抑制のための未来デザイン策定事業

補助対象事業者名: 妙高市

対策計画名: 妙高リゾート開発を契機とした面的受入環境整備

申請主体: 新潟県 対象地域: 新潟県妙高市を中心とした上越地方

補助対象経費: 6,628,000円
申請補助金額: 4,552,000円

事業目的

- 本事業は、大規模リゾート開発が計画されている観光地を踏まえ、観光客の増加、住民生活への影響など今後想定される懸念、課題を踏まえ、分析の上で、観光客の増加を抑制し、観光地の面的受入環境を整備する。また、大規模リゾート開発の契機として「未来デザイン」策定事業の推進を図る。【事業実施地域: 妙高市(妙高市)】(計画期間: 令和8年度～令和10年度) 実施する。
- 未来デザインにおいて、観光客の増加を抑制し、観光、交通、土地利用、自然環境、多文化共生など分野別の施策方針や推進策を面的受入環境整備計画として策定すること、多様な主体の協働・共同による、一体的な面的受入環境整備計画、オーバーツーリズムの未然防止・抑制と地域経済活性化の両立を図ることとする。

KPI (事業目標値)

① 観光地を踏まえ、観光客の増加を抑制し、観光、交通、土地利用、自然環境、多文化共生など分野別の施策方針や推進策を面的受入環境整備計画として策定すること、多様な主体の協働・共同による、一体的な面的受入環境整備計画、オーバーツーリズムの未然防止・抑制と地域経済活性化の両立を図ることとする。

② 観光客の増加を抑制し、観光、交通、土地利用、自然環境、多文化共生など分野別の施策方針や推進策を面的受入環境整備計画として策定すること、多様な主体の協働・共同による、一体的な面的受入環境整備計画、オーバーツーリズムの未然防止・抑制と地域経済活性化の両立を図ることとする。

事業内容

1. 面的受入環境整備
 - (1) 観光客の増加を抑制し、観光、交通、土地利用、自然環境、多文化共生など分野別の施策方針や推進策を面的受入環境整備計画として策定すること、多様な主体の協働・共同による、一体的な面的受入環境整備計画、オーバーツーリズムの未然防止・抑制と地域経済活性化の両立を図ることとする。
 - (2) 面的受入環境整備計画の策定
 - (3) 面的受入環境整備計画の実施
2. 観光客の増加を抑制し、観光、交通、土地利用、自然環境、多文化共生など分野別の施策方針や推進策を面的受入環境整備計画として策定すること、多様な主体の協働・共同による、一体的な面的受入環境整備計画、オーバーツーリズムの未然防止・抑制と地域経済活性化の両立を図ることとする。
3. 面的受入環境整備計画の実施
4. 面的受入環境整備計画の実施



前年度の同様の取組の有無

- 〇(前年度) 第4次妙高市観光計画策定
- 〇(前年度) 妙高市都市計画に基づき「観光客の増加に関する条例施行」(観光客の増加を抑制するための施策の実施)
- 〇(前年度) 妙高市観光局の設置に関する条例施行 (観光客の増加を抑制するための施策の実施)

その他の事項	〇(前年度) 妙高市
地域一体型との関係	〇(前年度) 妙高市
補助事業の計画期間	-

【スケジュール】

- 6月 6月議会 (補正予算)
- 6月 補助金採択通知
- 7月 策定業務委託受託者の公募 (プロポーザル)
- 9月～ 策定委員会の開催 (3回)
- 令和9年 1月 パブリックコメント
- 2月 未来デザイン策定

「Meet Japan in Joetsu」の概要

上越市をとりまく観光の現状・課題

国内

- 訪日外国人数の増加(2025年は過去最高) 4,268万人/年、消費額：9兆4,559億円
- オーバーツーリズム 東京、京都、大阪など首都圏に訪日客が集中。観光庁も地方分散を進め、補助金を創設
- 消費スタイルの変化 モノ消費から、高付加価値な体験や文化を重視するコト消費へシフト
- 旅行形態の変化 団体ツアー旅行から個人旅行へシフト

市内

- 派手ではないが多様で素晴らしい地域資源が多くある。
- 観光商品(体験・サービス)が少なく観光客が増えない。観光客が少ないので観光商品も増えない(負のスパイラル)。
- R10年12月 五つ星ホテル「シックスセンス妙高」オープン(大型リゾート開発)
- インバウンドの課題 ・実態把握ができていない・コンテンツの充実・外国語対応・プレイヤー、ランドオペレーター、ガイド不足・二次交通の対応・宿泊施設不足・効果的なPR、認知度向上

Meet Japan in Joetsu ～上越で日本に会おう～

- このキャッチフレーズのもと、雪や花、風景、食、歴史、人情など、上越市が、日本の持つ美しさや魅力のすべてが凝縮されたまちであることを国内外へ広く発信する。
- 国内外の各地から多くの方々に訪れていただき、上越市の多彩な魅力に触れてもらう。

令和8年度予算

- 【新】人流データ分析ツール負担金
 - ・ビックデータを活用した人流データ分析
- 【充】観光PRの強化
 - ・観光パンフレット・リーフレットの作成
 - ・上越観光Naviを活用したサービス提供
- 【充】インバウンドの誘客推進
 - ・ニーズに合わせたツアー・コンテンツ造成
 - ・国内商談会への参加、営業活動

検討中の取組

- コース造成
 - ・自然・風景・歴史文化・アクティビティ・体験・食などのコースを造成
 - ・テーマ(例)：雪・花、城下町・棚田、古民家、鉄道、スキー・マリンスポーツ、農泊、発酵文化(ワイン、日本酒、味噌、醤油)、銘菓、ジビエ
- 情報発信強化
 - ・直感的に伝わるインパクトのある国内外向けプロモーション映像の作成
 - ・SNSの発信強化
- 事業者支援
 - ・ガイドツアーや宿泊施設を運営する事業者の創出や支援

糸魚川市の取組

- 高付加価値ツアー用体験コンテンツの造成
ex.ヒスイ磨き体験:10万円/人(持ち帰り可)
※塩の道トレイル等、今後コンテンツを拡充
していく。



- 糸魚川駅自由通路デジタルサイネージに英語版PR動画の掲出
→ 糸魚川市英語版HP(Discover Itoigawa)へ誘導



【今後の取組】

□ 糸魚川商工会議所の取組

Googleビジネスプロフィール利用店舗の拡大促進

豊かな自然と歴史・文化が香る島

「佐渡島の金山」の世界遺産登録を契機とした効果を持続可能なものとするため、**観光入込客数60万人の達成**を目標として進める。

観光入込数：55万人（R9目標：60万人）

インバウンド入込数：3.3万人（R9目標：4万人）

満足度（大変満足）：44%（R9目標：45%）

観光目的における2泊以上の割合：59.4%（R9目標：62.3%）

【最重要】多様な関係者と連携した情報発信

【Ⅰ 外国人旅行客誘致事業】15,134千円

・ FITプロモーション業務

ターゲット国に応じたSNSやメディアを活用した情報発信を強化し、関係機関と連携して積極的な営業活動を展開することで、海外に向けた佐渡の認知度向上を図る。

【内容】

台湾、中国、シンガポール、フランスをターゲット国としてインフルエンサーやメディアを通じた誘客プロモーションを実施する。



【Ⅱ 世界遺産「佐渡島の金山」誘客プロモーション事業】44,501千円

・ 世界遺産登録を契機としたプロモーション業務

インフルエンサーの認定制度を創設し、佐渡ファンによる魅力発信の輪を広げることで、持続可能なプロモーション体制の実現を目指す。

- ・佐渡観光インフルエンサーの創設
- ・けえ【島育ち】チャンネル動画でのプロモーション等

・ 「佐渡島、忘るべからず」プロモーション

関係事業者等と連携して効果検証を行い、官民一体でのプロモーション体制を構築する。



【拡充】スポーツを活用した観光推進

【Ⅲ スポーツツーリズム推進事業】30,600千円

・ 4大スポーツ+ 1大会（新設）海から山へ

佐渡の4大スポーツイベントを軸に本年より、トレイルランニング大会を追加し、佐渡の自然や歴史、文化の魅力を活かし、スポーツツーリズムのフィールドとしてのブランディングを推進する。

【SADO ISLAND GOLD TRAIL】

佐渡の魅力を国内外に発信する。

ミドル（30km）定員100人 ロング（50km）定員400人



【拡充】観光需要の平準化

【Ⅳ 地域活性化に向けた泊食分離推進事業】9,846千円

・ 泊食分離推進業務

世界遺産登録の効果を地域へ波及させ、まちなかの賑わい創出と消費拡大を図るため、島内の宿泊施設や飲食店と連携し、地域一体で「泊食分離」の仕組みづくりに取り組む。地域の飲食店で使えるクーポン券付きの特別宿泊プランを期間限定で増設・販売する。



・実施期間：令和8年10月1日～令和9年2月28日

・販売方法：OTAの特別宿泊プランとして販売

* 素泊まりまたは1泊2日朝食のみ



事業①：相川周遊バス運行事業

■概要

ガイド施設「きらりうむ佐渡」
⇔佐渡金山を周遊するバスを運行
（中型バス 1日5.5便運行）

・運行期間：4/24～5/6、8/8～8/16

■背景・目的

佐渡金山がある場所は、居住エリアが近く、道路は狭小となっている。また、佐渡金山の駐車場は台数も限られるため、世界遺産登録効果により満車となる可能性がある。そこで人流増加対策として、佐渡金山への自家用車、レンタカーの乗り入れを制限し、交通渋滞を未然に防止するため、周遊バスを運行する

「きらりうむ佐渡」に車を駐車！パーク＆ライドで周辺観光をお楽しみください

運賃無料

相川周遊バス

2026年4/24～5/6、8/8～8/16運行

時刻表

バス種別	乗車開始	10:00	11:00	12:30	13:30	14:30
相川周遊バス	10:00	11:00	12:30	13:30	14:30	
きらりうむ佐渡	10:05	11:05	12:35	13:35	14:35	
佐渡金山	10:07	11:07	12:37	13:37	14:37	15:00
佐渡金山	10:09	11:09	12:39	13:39	14:39	
佐渡金山	10:15	11:15	12:45	13:45	14:45	
きらりうむ佐渡	10:20	11:20	12:50	13:50	14:50	15:30
佐渡金山	10:23	11:23	12:53	13:53	14:53	15:33
佐渡金山	10:24	11:24	12:54	13:54	14:54	15:34
きらりうむ佐渡	10:30	11:30	13:00	14:00	15:00	16:00
きらりうむ佐渡	10:32	11:32	13:02	14:02	15:02	16:02

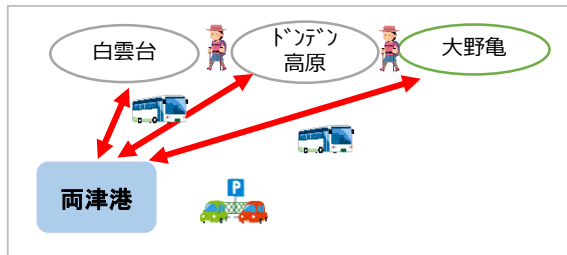
事業②：ライナーバス運行事業

■概要

両津港とドンデン高原、金北山（白雲台）、大野亀を結ぶ3路線のライナーバスを運行

・運行期間

ドンデンライナー：4/25～5/31
金北山ライナー：4/25～5/31
カンゾウライナー：5/23～6/7
（土・日のみ）



■背景・目的

春から初夏に集中しているトレッキングや花鑑賞に関しては、公共交通が整備されておらず、駐車場の収容能力が十分ではない。そのため、港直行のライナーバスを走らせることで、二次交通の充実を図る

事業③：佐渡版ライドシェア運行事業

■概要

市民及び来訪者の移動の足を確保するため、佐渡市全域において「佐渡版ライドシェア」の実証運行を実施

・実施期間：4/25～8/31

■背景・目的

観光繁忙期において、貸切需要の増加によりタクシーが不足し市民及び観光客の移動に支障をきたすことから、自家用車を活用した自治体版ライドシェアを実施し市民及び観光客の移動の足を確保する

佐渡版ライドシェア

supported by NearMe | ニアミー

タクシー / 佐渡版ライドシェア TAXI / SADO SHARED RIDE

Web予約サイト

事業④：バスツアー造成促進事業

■概要

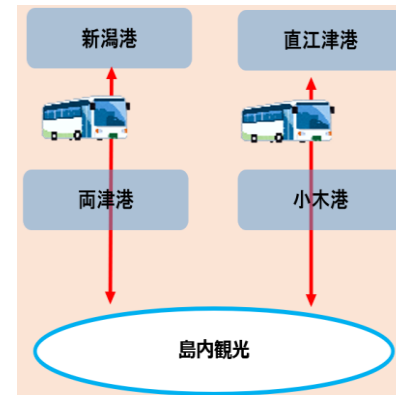
佐渡島への修学旅行や一般団体ツアーを実施する際、島内の貸切バスが満車、かつ島外からバスごとフェリーで輸送する場合に、バス航送料や乗務員の乗船料等を支援する。

・実施期間：5/1～12/31

※一般団体ツアーはGW(5/1～7)、夏季(7/19～8/31)、SW(9/20～9/24)を除く
※4月、R9.3月は佐渡市単独経費で実施

■背景・目的

島外からバスを航送する経費の一部を支援し、修学旅行や一般団体ツアーなどバスツアーの造成を促進する



かみ越後でTOKIめく連携協定 (2026年4月24日締結)

観光団体

(公社)上越観光コンベンション協会
(一社)糸魚川市観光協会
(一社)妙高ツーリズムマネジメント

宿泊施設

飲食店

観光施設

ツアー企画の
提案

交通事業者

頸城自動車(株)(バス)
佐渡汽船(株)(旅客船)
えちごトキめき鉄道(株)(鉄道)

・ 交通手段の提供
・ 共通チケットの
造成

2025年8月
連携協定
締結済み

具体的な観光商品の開発、企画の実施等

新たなコンテンツの開発

各種ツアーの造成・MaaS等
の企画商品の開発・実施

行政ニーズの提供、企画に対する協力・支援など

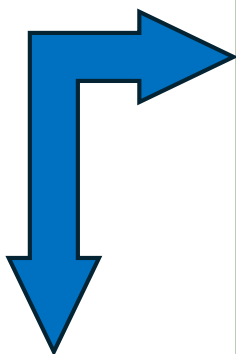
新潟県・上越市、糸魚川市、妙高市

【主な連携事項】

- ✓ 妙高山や日本海といった豊かな自然の景観や美味しい食・お酒を活用したツアー造成
- ✓ 上杉謙信公の居城などの歴史遺産等を活用したツアー造成
- ✓ 世界的な高原リゾート地として発展が見込まれる妙高高原地域からの誘客促進のためのコンテンツ開発、ツアー造成及び企画商品開発
- ✓ 各地域の特性を生かした着地型コンテンツ開発及びツアー造成
- ✓ 世界遺産登録された金山のある佐渡島との連携による交流促進のためのツアー造成及び企画開発
- ✓ サイクルツーリズムの広域かつ相互の展開

「かみ越後でTOKIめく連携協定」と関係会議等との関係

行政(企画・支援)と実施部門の連携



かみ越後でTOKIめく連携協定

(公社)上越観光コンベンション協会、(一社)糸魚川市観光協会、(一社)妙高ツーリズムマネジメント
頸城自動車(株)(バス)、佐渡汽船(株)(旅客船)、えちごトキめき鉄道(株)(鉄道)

※新潟県、上越市、糸魚川市及び妙高市には、行政ニーズの共有や各種取組に対するご協力及びご支援を依頼

2025年8月
連携協定
締結済み

【対象地域】

上越地域(上越市・糸魚川市・妙高市。)及び上越地域を含む周辺地域

【主な連携事項】

- ✓ 妙高山や日本海といった豊かな自然の景観や美味しい食・お酒を活用したツアー造成
- ✓ 上杉謙信公の居城などの歴史遺産等を活用したツアー造成
- ✓ 世界的な高原リゾート地として発展が見込まれる妙高高原地域からの誘客促進のためのコンテンツ開発、ツアー造成及び企画商品開発
- ✓ 各地域の特性を生かした着地型コンテンツ開発及びツアー造成
- ✓ 世界遺産登録された金山のある佐渡島との連携による交流促進のためのツアー造成及び企画開発
- ✓ サイクルツーリズムの広域かつ相互の展開

新潟県・
長野県の
地域的連携



妙高杉ノ原マウンテンリゾート開発計画連携 地域活性化協議会

新潟県(主催)、妙高市、上越市、糸魚川市、佐渡市
ペインシャンスキップグループ(PCG)、(株)第四北越銀行
えちごトキめき鉄道(株)、頸城自動車(株)、佐渡汽船(株)
(公社)新潟県観光協会

【主な連携事項】

- ✓ MaaSプラットフォームの導入、二次交通の確保、広域周遊観光ルートの確立(上越・妙高・糸魚川及び佐渡等)
- ✓ 杉野沢地区変形五差路の交通安全・渋滞緩和対策、上越妙高駅及び妙高高原駅周辺等の活性化・利便性向上、棚田の観光資源化他
- ✓ 建設予定ホテル等での県産品等利用、新潟食文化の情報発信等の連携
- ✓ 従業員等関係者の定住促進、広域的な人材確保への展開

広域観光ゲートウェイ連携協定

(一社)軽井沢観光協会、(一社)妙高ツーリズムマネジメント
しなの鉄道(株)

【対象地域】

軽井沢駅ー妙高高原駅間(しなの鉄道沿線)

【具体的連携事項】

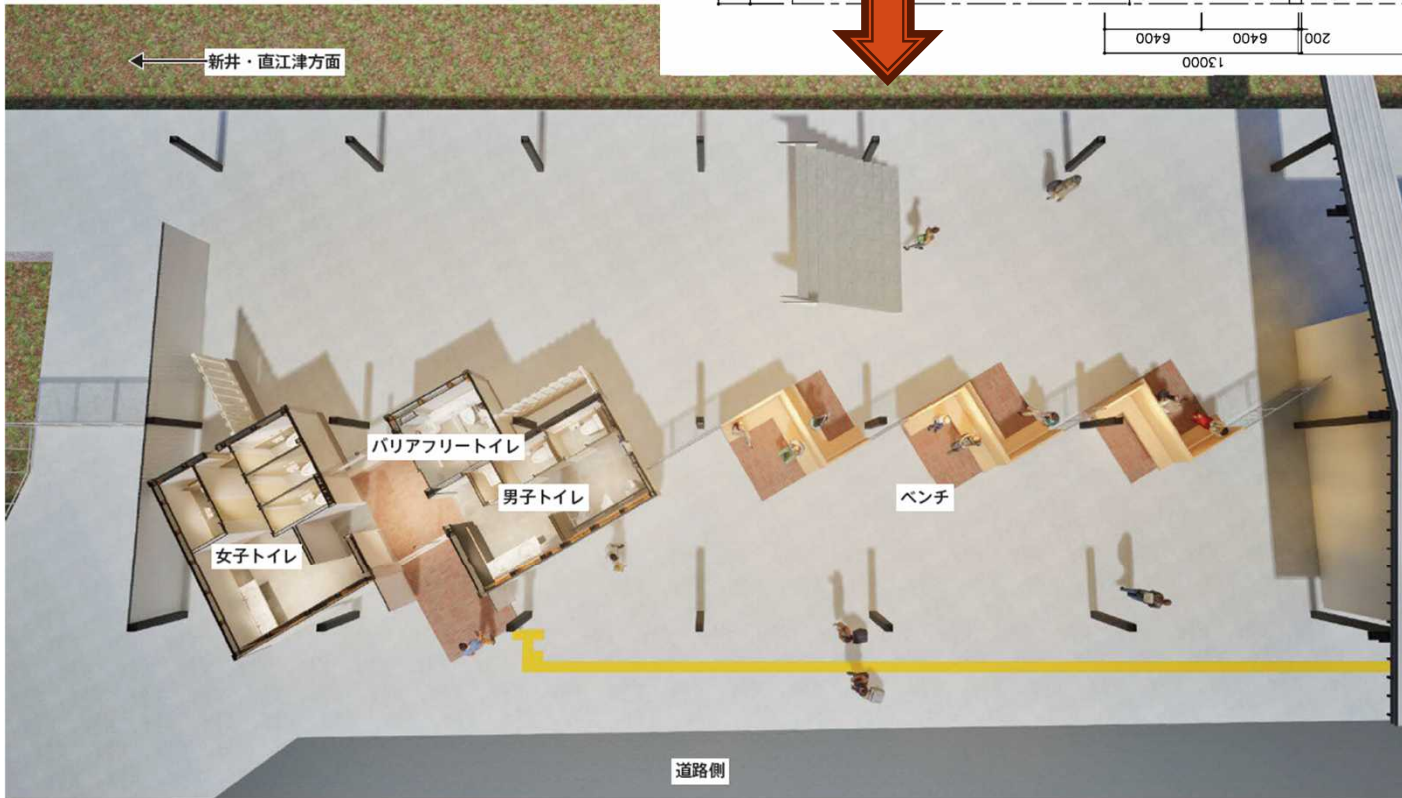
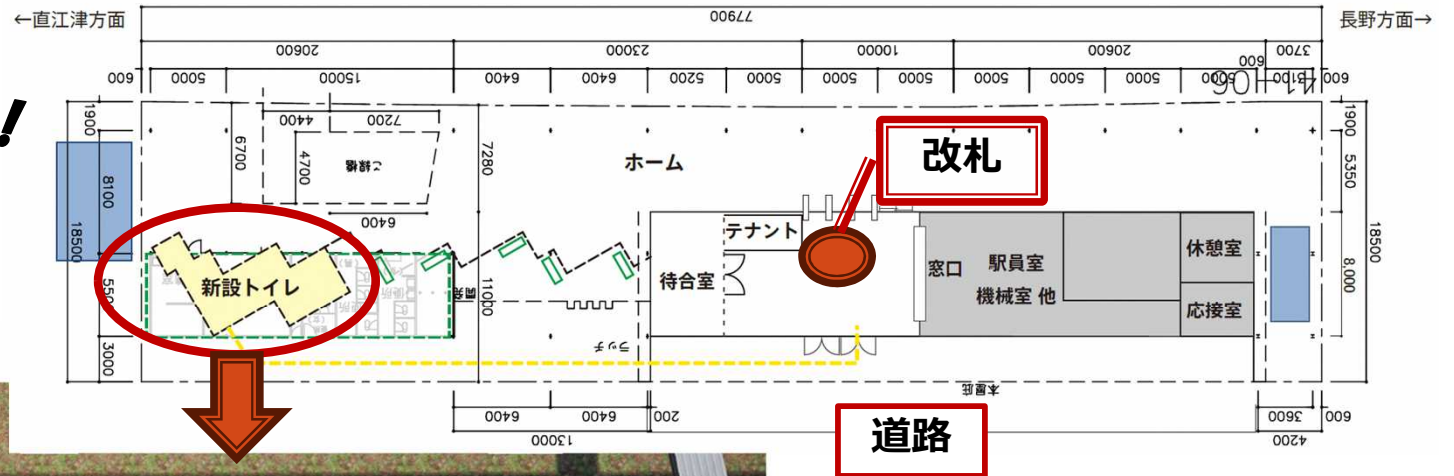
- ✓ 世界的な高原リゾート地である両地域のポテンシャルを活用したツアー造成
- ✓ 両地域を発着とする、しなの鉄道沿線地域へ向けたワイン・日本酒の食文化等の地域の特性を生かした着地型コンテンツ開発
- ✓ 北国街道が有する歴史コンテンツを活用した連携観光企画
- ✓ サイクルツーリズムの広域かつ相互の展開



妙高高原駅のトイレ改修のイメージ①

**2026年12月共用開始予定！
(トイレ部分)**

改修イメージ 平面パース



**工事費は、新潟県、妙高市
及びトキ鉄(自己資金)**

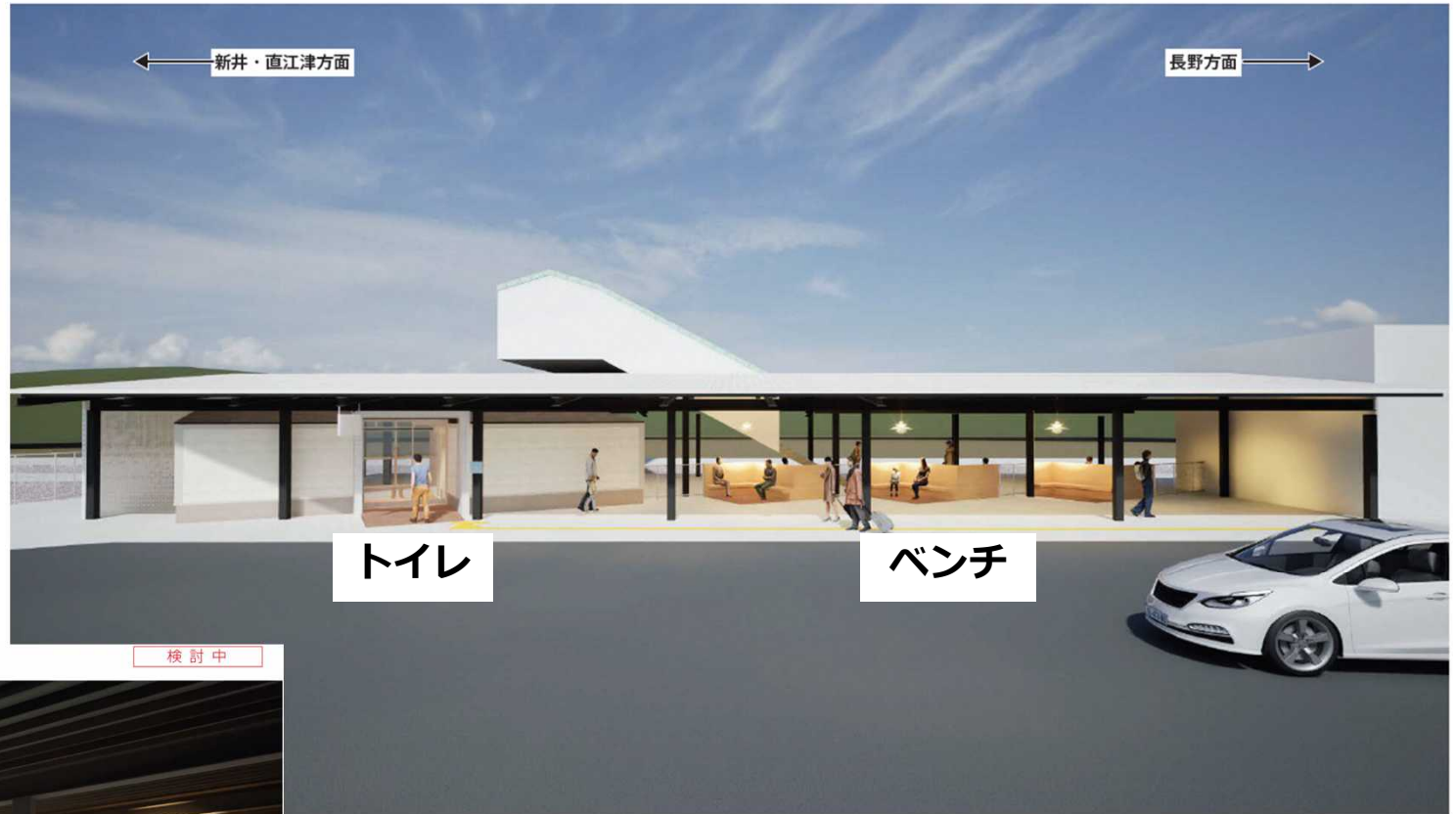
この画像は検討中のイメージで、今後変更の可能性があります。



妙高高原駅のトイレ改修のイメージ②

改修イメージ 道路側正面

検討中



改修イメージ 道路側 屋根下空間

検討中



この画像は検討中のイメージで、今後変更の可能性があります。

ICHIBANSEN / nextstations	drawn ICHIBANSEN / nextstations checked	date 2026.03.09 scale	project 妙高高原駅改修 document title 改修イメージ	01
---------------------------	--	--------------------------	--	----